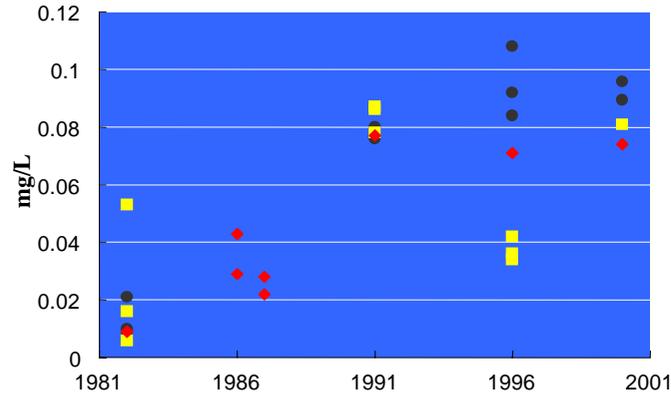


釧路東部3湖沼の水環境の変化

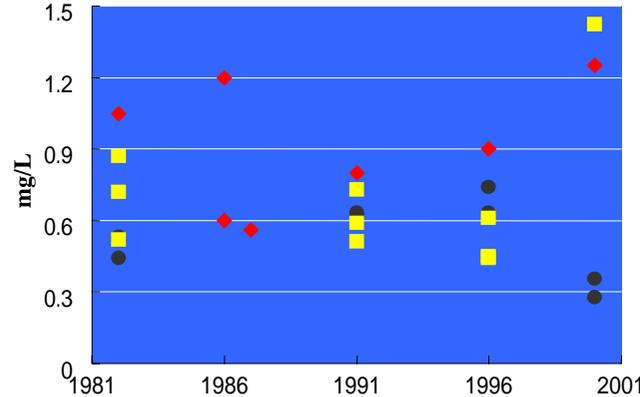
1. 水質環境の変化

- 全りん(TP)量の変化 -



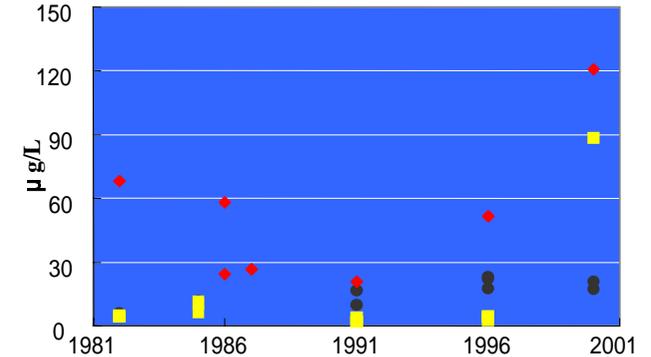
・3湖沼とも環境基準に基づく指定はされていないが、富栄養化の目安のひとつである全りん(TP)は、すべての湖沼で環境基準類型(0.005mg/L以下)を大きく上回り、近年の増加傾向が伺える。

- 全窒素(TN)量の変化 -



・3湖沼とも環境基準に基づく指定はされていないが、富栄養化の目安のひとつである全窒素(TN)は、すべての湖沼で環境基準類型(0.1mg/L以下)を上回り、塘路湖、達古武沼では、近年比較的高い測定値が示された。

- クロロフィルa量の変化 -



・水中に存在する植物性プランクトンの相対的な現存量を示すクロロフィルaは、近年、塘路湖、達古武沼で比較的高い測定値が示された。

出典) Takamura et al. (2003)

注釈

1982-1996年のデータは北海道環境科学研究所による。同一年に、同一湖沼の測定値が複数示されている場合は、複数箇所測定を実施したことを表している。

凡例

● シラルトロ湖 ■ 達古武沼 ◆ 塘路湖

2. 水生植物(浮葉、沈水、浮遊植物)の確認種数の変化

- シラルトロ湖 -

	1975/76	1991	2000
浮葉植物 (Floating-leaved plants)			
カラフトグワイ	+	+	-
オヒルムシロ	+	+	(+)
ホソバミズヒキモ	+	-	-
エゾノミズタデ	+	-	-
ネムロコウホネ	+	+	-
ヒツジグサ	+	+	+
沈水植物 (Submerged plants)			
クロモ	+	+	+
セキショウモ	+	+	-
ホソバヒルムシロ	+	+	+
ヒロハノエビモ	+	+	(+)
ナガバエビモ	+	-	-
エビモ	+	+	+
センニンモ	+	+	+
エゾアナギモ	+	+	-
イトモ	+	+	-
イバラモ	+	+	-
マツモ	+	+	+
ホザキノフサモ	+	+	+
ミズハコベ	+	+	(+)
タヌキモ	+	+	(+)
浮遊植物 (Free-floating plants)			
ウキクサ	+	+	(+)
ムラサキコウキクサ	+	+	-
ヒンジモ	+	+	-
確認種数	24	22	14

- 達古武沼 -

	1975/76	1991	2000
浮葉植物 (Floating-leaved plants)			
カラフトグワイ	+	+	-
オヒルムシロ	+	-	(+)
ホソバミズヒキモ	+	+	+
ネムロコウホネ	+	+	+
ヒツジグサ	+	+	+
ヒシ	+	+	+
沈水植物 (Submerged plants)			
クロモ	+	+	+
セキショウモ	+	+	+
ヒロハノエビモ	+	+	+
ナガバエビモ	(+)	(+)	-
センニンモ	+	+	+
エゾアナギモ	+	+	+
イバラモ	+	+	-
イトイバラモ	+	+	-
マツモ	+	+	+
フサモ	+	+	(+)
ホザキノフサモ	+	+	+
ミソハコベ	+	-	-
タヌキモ	+	+	(+)
浮遊植物 (Free-floating plants)			
ウキクサ	+	+	(+)
ムラサキコウキクサ	+	+	-
ヒンジモ	+	+	-
確認種数	22	20	14

- 塘路湖 -

	1975/76	1991	2000
浮葉植物 (Floating-leaved plants)			
ホソバミズヒキモ	+	+	-
エゾノミズタデ	+	+	+
ネムロコウホネ	+	+	+
ヒツジグサ	+	+	(+)
ヒシ	+	+	+
沈水植物 (Submerged plants)			
クロモ	+	+	-
セキショウモ	+	+	-
ホソバヒルムシロ	+	-	-
ヒロハノエビモ	+	+	-
ナガバエビモ	+	-	-
エゾヒルムシロ	+	-	-
エビモ	+	-	(+)
センニンモ	+	+	+
イトモ	+	+	-
イトイバラモ	+	+	-
マツモ	+	+	+
ホザキノフサモ	+	+	+
タヌキモ	+	-	-
確認種数	18	12	8

凡例

+ : 確認された
(+): 稀
- : 確認されなかった
赤字種名: 環境省レッドデータブック掲載種

出典

角野ら(1992), Takamura et al.(2001)

・抽水植物を除く水生植物は、1991年の調査結果と比較して絶滅危惧種を中心にシラルトロ湖で8種、達古武沼で6種、塘路湖で4種が確認されなかった。
・上記種に加え、3湖沼においてマリモの生育量減少が報告されている(若菜, 1999)。